

2023年3月7日  
リープトンエネルギー株式会社



リープトンエネルギー株式会社(代表取締役:周 鳴飛、本社:兵庫県神戸市)は、TOPCon技術を採用した、N-type太陽電池モジュールを発売いたします。国内での受注開始は夏頃を予定しており、年間出荷量は国内・国外を含め1GWを想定しています。

ラインナップは、片面発電・両面発電ともに、182型の54セル、60セル、72セル、78セルで、最大出力は625W、変換効率は22.5%です(片面出力)。N-typeモジュールの特徴は従来のP-typeと比較し、高出力で長寿命であることです。また、両面係数もアップしていることから、両面出力パネルでの発電でも威力を発揮します。

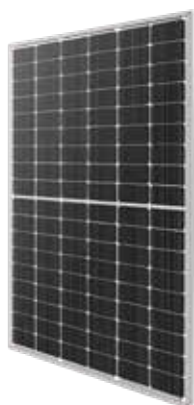
市場では、従来一般的だったP-typeセル(PERC)から、N-type(TOPCon、HJT)に置き換わりつつあり、2030年頃には取って変わると予想されています。リープトンエネルギーでは、自社モジュール工場の増設工事を行っており、8月ごろには3GWの生産体制が整い、更なる量産体制が可能になる予定です。脱炭素の潮流により、より世界中でニーズが高まっている太陽電池モジュールを、高品質かつ安定的にお届けできるのは自社工場製造ならではのメリットです。

リープトンエネルギーは2012年に神戸で設立以来、太陽光発電のシステムメーカーとして太陽電池モジュールや架台の製造・販売を行ってきました。Bloomberg New Energy Finance(BNEF)が太陽電池モジュールのサプライヤを対象に四半期ごとに、「Tier1=トップクラス」と定め発表する「Tierリスト」にも連続選出され、主要な融資対象企業として世界的に評価されています。

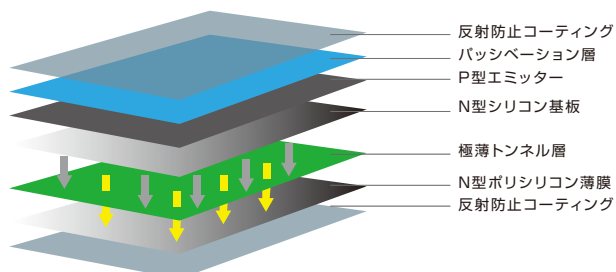
今後は世界的な目標である「再生エネルギーへの転換」を加速させるべく、太陽光発電を通じて優れた商品やサービスを提供して参ります。

## ■N-type 太陽電池モジュールの特徴

従来の P-Type と比較し、変換効率が高く、太陽電池モジュールの出力低下を引き起こす PID 現象による劣化が抑えられる高性能モジュールです



TOPcon構造図



### ・高発電

従来の P-type と比較し、出力が約 10 パーセントアップしています。

### ・長寿命

減衰率が低く、P-type では年率 0.55%の減衰のところ、N-type では年率 0.40% となります。（ともに初年度を除く）従い、P-type では 25 年の出力保証のところ、N-type は 5 年長い 30 年保証が実現しました。

### ・両面係数（Bifaciality）がアップ

P-type の両面係数は 70%なのに対し、N-type の両面係数は 10%増加し 80%に達しました。（※1）両面発電でもより高い出力が保証されます。

### ・低温度係数

N-typeパネルは、温度係数や動作温度が低く抑えられる反面、発電量は高いという特徴があります。

### ・LID現象やLeTID現象を低減し、出力が安定

LID現象（※2）やLeTID（※3）現象を低減し、安定した出力が望めます。

※1 当社太陽電池モジュール工場（中国江蘇省）に於けるテスト結果による。

※2 LID現象（Light Induced Degradation）

太陽光パネルの初期劣化、光誘起劣化と呼ばれる現象。設置後、太陽光を受けはじめてしばらくの期間、性能が低下する現象。

※3 LeTID現象（Light and elevated Temperature Induced Degradation）

パネルの温度が50度を超える場合、出力が低下する現象。

## ■リープトンエネルギー株式会社について

会社名	リープトンエネルギー株式会社 (Leapton Energy Co.,Ltd)
設立年月	2012年7月
資本金	4億9,999万円
所在地	神戸本社：兵庫県神戸市中央区相生町1-2-1 東成ビルディング6F 東京支社：東京都港区新橋3-5-10 新三ビル6F
事業内容	太陽光発電システムの開発・販売 太陽電池モジュールの製造・販売 太陽光発電システム取付部材(架台・基礎杭)の製造・販売 太陽光発電所の設置・管理・メンテナンス
ホームページ	<a href="https://www.leaptonenergy.jp">https://www.leaptonenergy.jp</a>

<本件に関するお問合せ先>

リープトンエネルギー株式会社 神戸本社

広告企画部 TEL：078-382-3182